

平成 31 年度 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議
事業計画 (案)

I 推進本部会議運営に係る総合調整事業【予算額 1,200 千円】

推進本部会議の開催

「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議」における取組方針、決算・予算等を審議・決定するため、推進本部会議を開催する。

また、世界文化遺産登録を見据え、今後の保存管理のあり方を検討するため、資産専門部会、緩衝地帯専門部会、来訪者対策専門部会の 3 つの部会を開催する。

II 学術検討・条件整備事業【予算額 30,554 千円】

7 月の世界文化遺産登録実現に向け、地元 3 市及び文化庁等関係省庁とともに、イコモスによるユネスコへの評価結果の勧告等を踏まえた対応を行なう。

また、第 43 回ユネスコ世界遺産委員会に出席し、世界遺産登録に関する審議を傍聴するほか、登録が実現した際には、モニタリングの実施や世界遺産委員会で示される課題等に対応する。

1 イコモス勧告への対応

例年 5 月に行なわれるイコモスによるユネスコへの評価結果の勧告について、地元 3 市及び文化庁等関係省庁との協議の上、対応する。

2 第 43 回ユネスコ世界遺産委員会への出席

アゼルバイジャンで開催される第 43 回ユネスコ世界遺産委員会に出席し、百舌鳥・古市古墳群に関する審議を傍聴するとともに、各国の世界遺産関係者との意見交換や登録後の取組みについての状況調査等を行なう。

3 保全状況報告書の作成

文化庁やユネスコに提出する保全状況報告書の作成のため、資産の保全状況についてモニタリングを行いデータを収集する。

4 文化庁・官内庁等との協議

イコモスによる勧告やユネスコ世界遺産委員会において登録の際に示される課題等に、文化庁等関係省庁と連携して対応するため協議を行なうほか、世界遺産や考古学等の学術的な検討を加えるため、専門家との意見交換を行なう。

Ⅲ 魅力創出・情報発信事業【予算額 23,282千円】

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた機運醸成・情報発信に取り組む。また、登録が実現した際には、記念イベントを開催するほか、国内外に百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を発信するための事業を行なう。

1 登録関連イベントの実施

第43回ユネスコ世界遺産委員会会場から大阪への中継を行なうほか、大阪や東京において登録記念イベントを開催し、「大阪初の世界文化遺産 百舌鳥・古市古墳群」を強力に発信する。

2 国内外に向けた情報発信の実施

国内外に向け百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を発信し、海外からも多くの方に古墳群を訪れていただけるよう、海外メディアに向けたプロモーションを実施する。

3 民間事業者等との連携による情報発信

民間企業や大学、その他団体等と連携・協力し、様々なツールや手法を活用した百舌鳥・古市古墳群のPRを実施し、全国における認知度向上を図る。

4 登録記念冊子の作成

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産としての価値や登録実現までの取組み等を取りまとめた冊子を作成する。

5 世界遺産学習会の実施

府内全域において、百舌鳥・古市古墳群や世界文化遺産に関する理解を深めていただくため、市町村や学校と連携し学習会を開催する。

6 その他

①ホームページの活用

国内外に向け、広く百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を発信するため、ホームページ（日本語版・英語版）を運営・更新する。

②各種情報発信ツールの作成及び活用

府民会議登録企業や交通各社等との民間連携イベントをはじめ、様々な機会において、百舌鳥・古市古墳群のPRを行なうため、ウォーキング・マップやポスター、リーフレットなどの情報発信ツールを作成する。